

2011年3月期 第2四半期決算説明会

2010年11月18日

(証券コード:3098)

第2四半期決算の概要

2

第2四半期のハイライト

売上高・経常利益の推移

決算概要 前年同期比較(P/L)

決算概要 計画対比(P/L)

売上高伸び率推移

商品分類別売上高

商品分類別売上構成比

第2四半期 出退店実績・計画

貸借対照表(B/S)

キャッシュフロー計算書

通期の見通し

13

通期売上高・経常利益の推移

連結予想損益計算書

(ご参考)アライドハーツHD決算情報

16

第三期 第2四半期 TOPICS

19

TOPICS

エリア戦略

地域医療の連携と調剤強化

アライドハーツとの合併後組織について

23

ココカラファイングループ企業概要

広がる店舗ネットワーク

業界トップクラスの調剤機能／業界ポジション

新ココカラファイン事業運営

ココカラファイン戦略

29

事業内容

戦略Ⅰ～Ⅳ

事業の方向性

ココカラファイン5カ年計画

経営理念

ココカラファイン概要

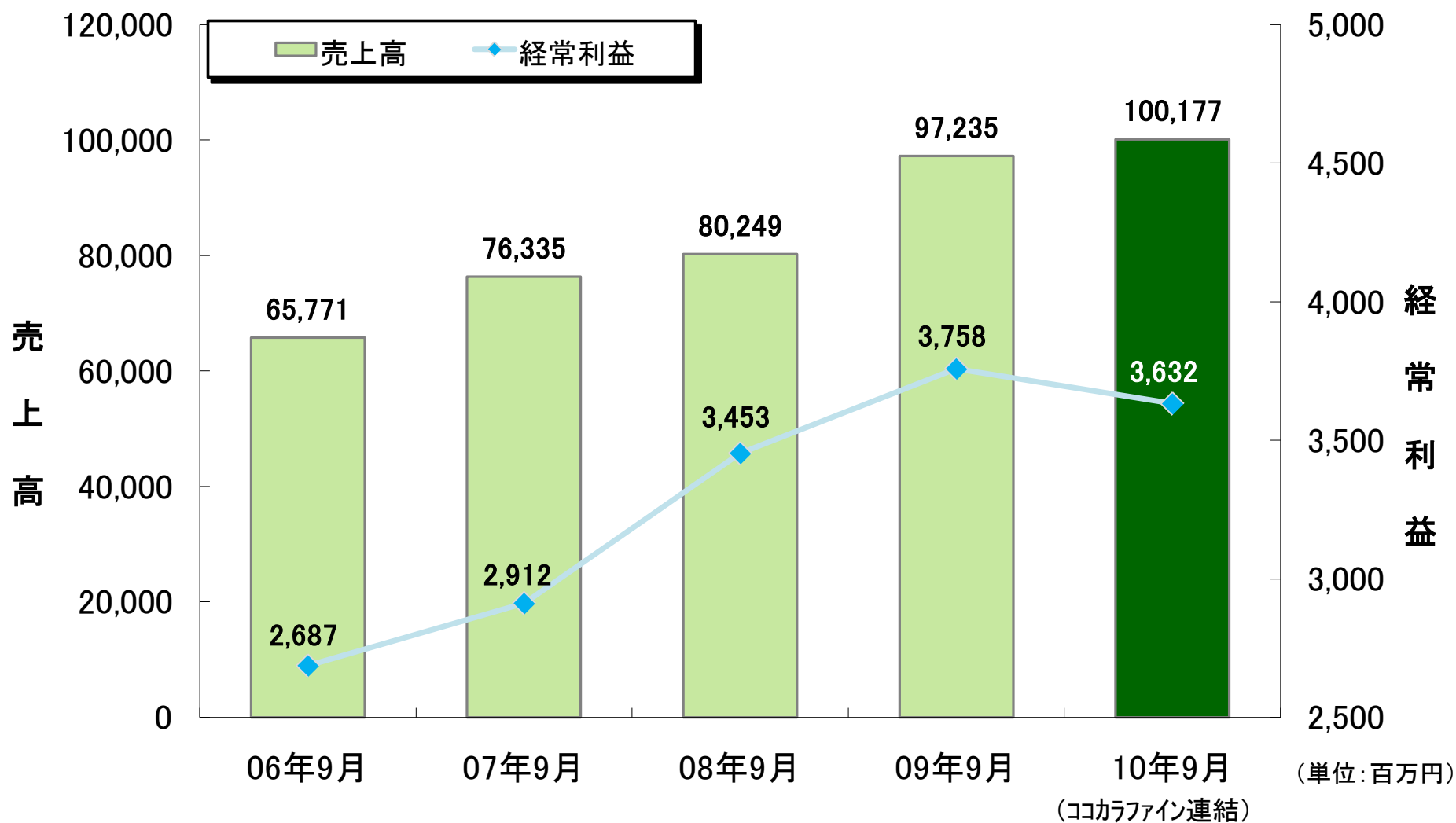
IRコンタクト

第2四半期決算の概要

- アライドハーツ・ホールディングスとの協議を重ね、10月1日付で合併作業を完了するとともに、新たな組織運営体制をスタート致しました。
- 9月1日付で首都圏を中心に店舗展開をしておりました(株)いわいから24店舗のドラッグストア事業の譲受を致しました。
- 新規16店舗を出店、退店14店舗を行い、既存事業の体質改善を図り、店舗数は譲り受けた(株)いわいの店舗を含め687店舗(内調剤取扱126店舗)となりました。
- 既存事業の質的強化戦略を行ってまいりましたが、昨年のインフルエンザ関連特需の反動等により、既存店売上高増収率は2.9%減(期初計画は3.3%減)となりました。
出店による増収効果も含め、売上高は100,177百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益は1,756百万円(同6.9%減)、経常利益は3,632百万円(同3.4%減)、当期利益は資産除去債務に関する会計基準の適用に伴い過年度分の処理を行った(特別損失647百万円)影響もあり1,617百万円(同28.4%減)と、増収減益となりました。



売上高・経常利益の推移



※ 07年9月までの数値は、セガミ・セイジョーの実績を単純合算したものです。
セイジョーは、便宜上ココカラファインの決算と同時期の数値を算出して使用しております。

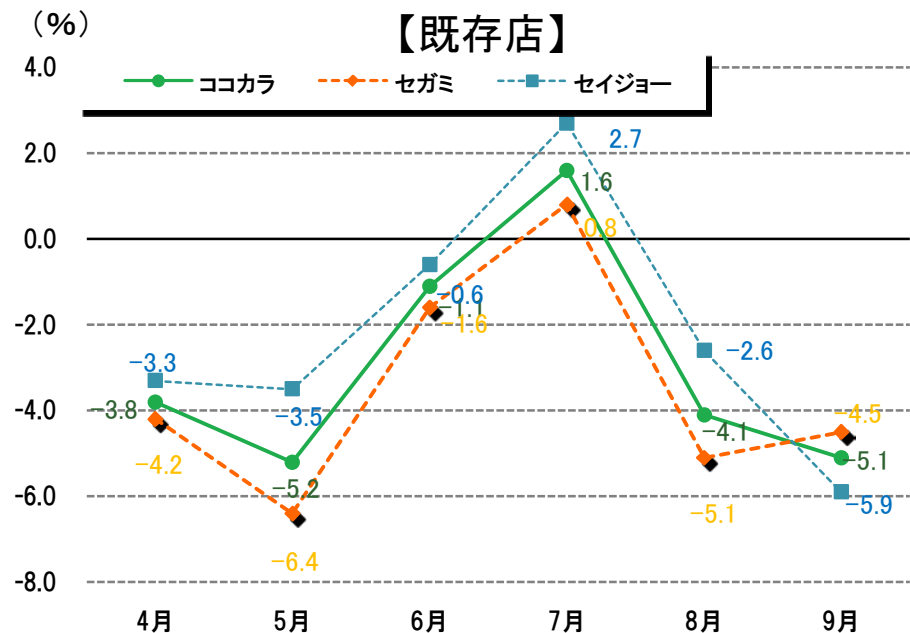
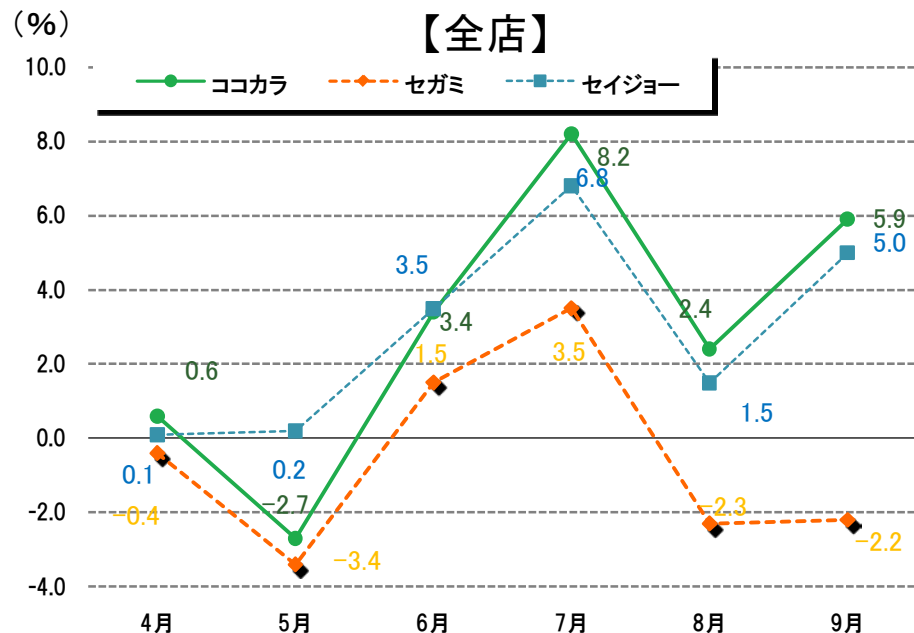


	第2四半期 累計実績 (2010/9)	前年実績 (2009/9)	増減	前年比 (%)	前年比増減要因
売上高	100,177 (100%)	97,235 (100%)	2,942	103.0	◇前期インフルエンザ特需の反動 ◇夏物商材の好調 ◇新規出店40店、退店14店 ◇卸売上増(株コダマへの供給)
セガミ	49,129	49,057	72	100.1	
セイジョー	36,604	35,336	1,268	103.6	
卸事業	14,444	12,842	1,602	112.5	
売上総利益	24,427 (24.4%)	24,046 (24.7%)	381	101.6	◇マスク等前期インフル特需の反動 ◇卸除く売上比 前期28.2%→今期28.3%
営業利益	1,756 (1.8%)	1,885 (1.9%)	▲129	93.1	◇資産除去債務適用(販管費+38)
経常利益	3,632 (3.6%)	3,758 (3.9%)	▲126	96.6	
当期純利益	1,617 (1.6%)	2,257 (2.3%)	▲640	71.6	◇資産除去債務適用に伴う過年度分 処理(▲647) ◇セイジョー棚卸資産評価変更(▲41)

(単位:百万円)

	第2四半期 累計実績 ('10/9)	第2四半期 累計計画 ('10/9)	計画 差異	計画比 (%)	計画差異要因
売上高	100,177 (100%)	101,190 (100%)	▲1,013	99.0	◇既存店売上: 計画▲3.3%→実績+▲2.9% ◇出店計画未達 ◇新規卸(コダマ)開始月遅れ(7月 中旬開始)
セガミ	49,129	50,067	▲938	98.1	
セイジョー	36,604	36,250	354	101.0	
卸事業	14,444	14,874	▲430	97.1	
売上総利益	24,427 (24.4%)	24,509 (24.2%)	▲82	99.7	◇売上計画未達要因 ◇卸除く売上比: 計画28.2%→実績28.3%
営業利益	1,756 (1.8%)	1,420 (1.4%)	336	123.7	◇営業費見直しによるコストダウン ◇卸除く経費率: 計画26.7%→実績26.3%
経常利益	3,632 (3.6%)	3,280 (3.2%)	352	110.7	
当期純利益	1,617 (1.6%)	1,060 (1.0%)	557	152.5	

(単位: 百万円)



既存店(累計) 売上高:2.9%減 客数:3.7%減 客単価:0.8%増

既存店

- 4月:天候不順による客数減少と季節商材の不振
- 5・8・9月:前期のインフルエンザ特需による反動
- 7月:猛暑による夏物季節商材の好調

全社

- 上期全般:卸事業拡大による売上げ(株)コダマへの商品供給は7月度より順次開始)
- 出退店:新規出店16店舗、退店14店舗、(株)いわいからの事業譲受24店舗



	第2四半期期実績			前年実績(09/9)		
	(百万円)	構成比	前期比	(百万円)	構成比	前期比
医 薬 品	26,288	30.9	101.7	25,853	30.8	105.0
う ち 調 剤	10,124	11.9	109.7	9,227	11.0	111.4
化 粧 品	27,577	32.4	102.5	26,912	32.1	101.5
健 康 食 品	3,908	4.6	98.9	3,951	4.7	103.1
日 用 生 活 商 品	15,339	18.0	102.7	14,937	17.8	108.7
そ の 他 商 品	12,037	14.1	97.8	12,312	14.7	121.9
全 店 計	85,152	100.0	101.4	83,966	100.0	106.5
卸 ・ 介 護 他	15,024	-	113.2	13,268	-	926.8
全 社 計	100,177	-	103.0	97,235	-	121.2

■ 前期インフルエンザ関連特需の反動。

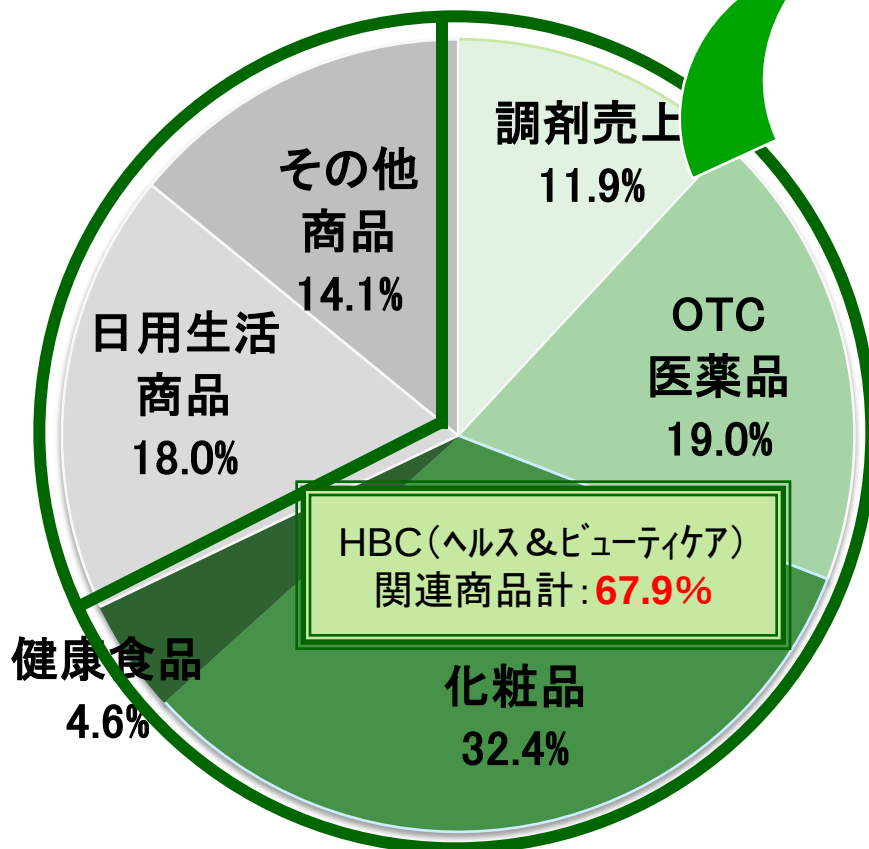
OTC医薬品(前年同期間比2.8%減)、マスク等のその他商品(同2.2%減)

■ 調剤事業は既存店の伸長が寄与し前期比9.7%増

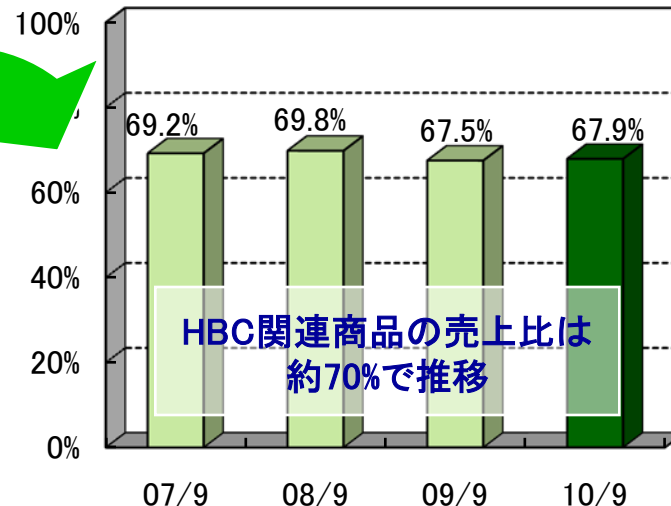
■ 卸事業拡大により「卸・介護他」は前期比13.2%増(コダマへの卸は2010/7月より開始)



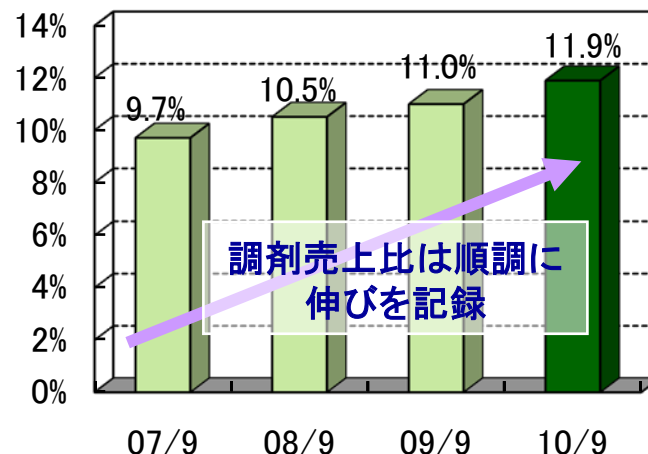
2010/9 商品売上構成比



HBC関連商品売上構成比率推移



調剤構成比率推移



	期首	第2四半期実績			通期計画		
		出店	退店	期末	出店	退店	期末
セガミメディクス	378	5	8	375	24	15	387
セイジョー	283	35	6	312	40	10	313
ジップ	—	—	—	214	5	0	219
ライフオート	—	—	—	168	10	0	178
ココカラファイン (調剤取扱店舗数)	661 (117)	40 (12)	14 (3)	1,069 (208)	79 (9)	25 (0)	1,097 (209)
設 備 投 資(百万円)		1,768			6,006		
減 価 償 却(百万円)		980			3,098		
当期純利益(百万円)		1,617			6,140		

※セイジョーの出店数に、(株)いわい店舗24店を含んでおります。



貸借対照表(B/S)

	第2四半期(10/9)		前回決算期(10/3)		増減
	(百万円)	構成比	(百万円)	構成比	(百万円)
流動資産	47,148	55.5	43,511	54.6	3,637
固定資産	37,791	44.5	36,167	45.4	1,624
有形固定資産	18,455	21.7	17,937	22.5	518
無形固定資産	1,790	2.1	1,313	1.6	477
その他	17,545	20.7	16,916	21.2	629
資産合計	84,939	100.0	79,679	100.0	5,260

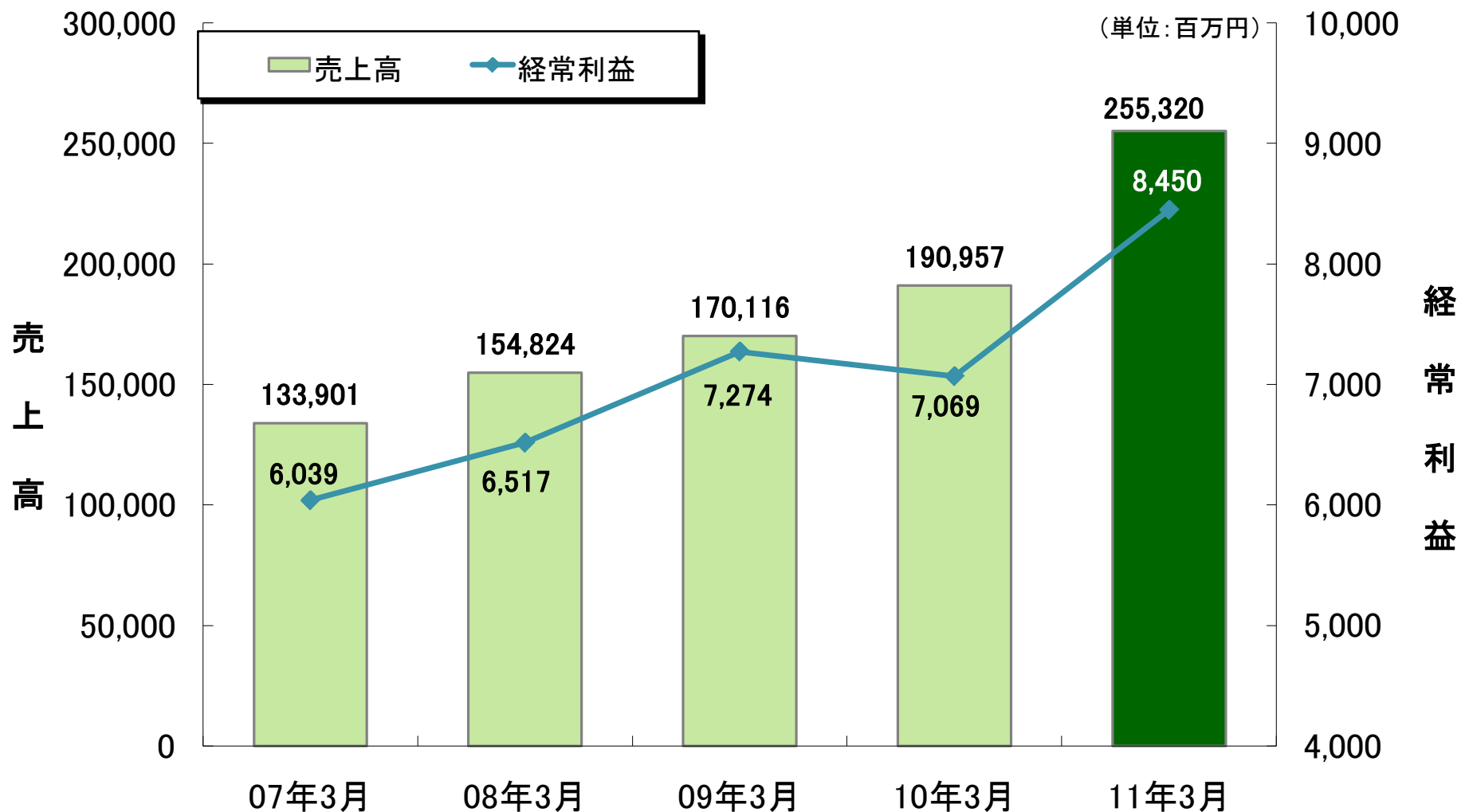
流動負債	31,484	37.1	26,565	33.3	4,919
固定負債	6,836	8.0	7,116	8.9	▲280
負債合計	38,321	45.1	33,681	42.3	4,640
純資産合計	46,618	54.9	45,997	57.7	621
負債純資産合計	84,939	100.0	79,679	100.0	5,260



(単位: 百万円)

	第2四半期 (10/9)	前年第2四半期 (09/9)
営業活動によるキャッシュフロー	4,953	3,967
投資活動によるキャッシュフロー	▲2,161	▲1,107
財務活動によるキャッシュフロー	▲1,453	▲2,733
現金及び現金同等物の増減額	1,339	126
現金及び現金同等物の期首残高	10,153	10,707
現金及び現金同等物の期末残高	11,493	10,834

通期の見通し



※ 08年3月までの数値は、セガミ・セイジョーの実績を単純合算したものです。

セイジョーは、便宜上ココカラファインの決算と同時期の数値を算出して使用しております。

(ココカラファイン連結計画)

	2010年3月期			
	上期実績(09/9)		通期実績(10/3)	
	(百万円)	構成比	(百万円)	構成比
売上高	97,235	100.0	190,957	100.0
セガミ	49,057	50.5	96,136	50.3
セイジョー	35,336	36.3	69,434	36.4
ジップ	—	—	—	—
ライフオート	—	—	—	—
卸	12,842	13.2	25,391	13.3
売上総利益	24,047	24.7	47,385	24.8
営業利益	1,885	1.9	3,394	1.8
経常利益	3,758	3.9	7,069	3.7
当期純利益	2,257	2.3	4,169	2.2

2011年3月期					
上期実績(10/9)			通期予想(11/3)		
(百万円)	構成比	前期比	(百万円)	構成比	前期比
100,177	100.0	103.0	255,320	100.0	133.7
49,129	49.0	100.1	101,455	39.7	105.5
36,604	36.5	103.6	76,075	29.8	109.6
—	—	—	26,958	10.6	—
—	—	—	20,430	8.0	—
14,444	14.4	115.3	31,846	12.5	125.4
24,427	24.4	99.6	62,214	24.4	131.3
1,756	1.8	92.9	4,330	1.7	127.6
3,632	3.6	96.7	8,450	3.3	119.5
1,617	1.6	71.6	6,140	2.4	147.3

ご参考：アライドハーツ・ホールディングス決算情報

■ 年間実績

	2009年 11月期 (百万円)	売上比 (%)	前年比 (%)
売上高	100,277	100.0	98.3
売上総利益	26,256	26.2	99.1
営業利益	3,412	3.4	100.4
経常利益	3,929	3.9	101.2
純利益	1,691	1.7	82.0

■ 商品分類別売上高

	2009/11実績			
	百万円	構成比 (%)	前期比 (%)	利益率 (%)
調剤	9,627	9.7	103.7	34.3
ヘルスケア	28,326	28.4	101.2	36.3
ビューティケア	29,439	29.6	96.5	26.0
ハウスキーピング	19,973	20.1	98.2	13.4
コンビニエンス	12,172	12.2	92.9	18.8
全店	99,539	100.0	98.3	26.3

卸	738	－	87.2	－
全社	100,277	－	98.3	26.2

(単位:百万円)

	第1四半期 (2009/11/16～ 2010/2/15)			第2四半期 (2010/2/16～ 2010/5/15)			第3四半期 (2010/5/16～ 2010/8/15)			第3四半期累計 (2009/11/16～ 2010/8/15)		
	百万円	売上比 (%)	前期比 (%)	百万円	売上比 (%)	前期比 (%)	百万円	売上比 (%)	前期比 (%)	百万円	売上比 (%)	前期比 (%)
売上高	23,873	100.0	94.6	23,244	100.0	96.2	26,200	100.0	100.0	73,318	100.0	97.0
売上総利益	6,152	25.8	93.1	6,041	26.0	93.0	6,601	25.2	101.9	18,795	25.6	96.0
営業利益	501	2.1	56.0	410	1.8	50.4	797	3.0	113.5	1,709	2.3	70.9
経常利益	619	2.6	61.9	549	2.4	58.5	922	3.5	109.8	2,090	2.9	75.2
当期純利益	430	1.8	81.9	297	1.3	58.7	474	1.8	115.0	1,202	1.6	83.2

(単位:百万円)

第3期 第2四半期TOPICS

成長戦略

□10月1日付

アライドハーツ・ホールディングスとの合併を完了

M&A戦略

□(株)いわいの全ドラッグストア事業の譲受

海外戦略

□中国(上海)での新規出店

アライアンス

□コンビニとのコラボ出店による複合機能店舗(多摩センター)

地域医療連携

□高度医療対応調剤拠点(阪神尼崎調剤)

M&A・アライアンスを活用したエリア・事業拡大戦略

■(株)いわいのドラッグストア事業譲受け

首都圏を中心に店舗展開をしておりました(株)いわいのドラッグストア・調剤事業全部譲り受け首都圏ドミナントの深化を致しました。

東京都;21店舗
神奈川県;2店舗
千葉県;1店舗
(うち調剤扱6店舗)

■中国(上海)で新規店舗開設

日本のドラッグストアとして初となる中国での出店。上海の繁華街、ショッピングセンター内にSEGAMI美羅城店を開設。



■サークルKサンクスとのコラボ出店

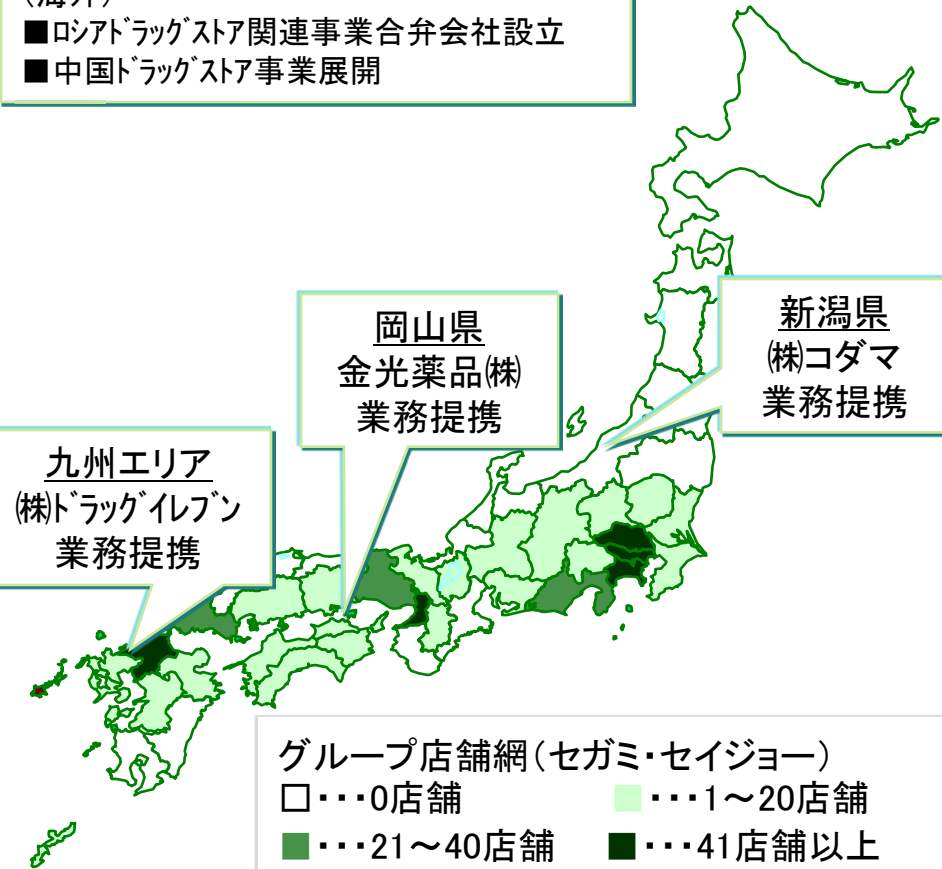
コンビニ、ドラッグストア、調剤、在宅看護、介護支援の複合機能店舗を一括運営するセイジョー多摩センター店を開設。



事業エリア

(海外)

- ロシアドラッグストア関連事業合弁会社設立
- 中国ドラッグストア事業展開



調剤事業の拡充を継続

調剤事業の拡充

ココカラファイン業界ランキング

月間千枚処方箋枚数
応需店舗数 → **第1位**

調剤報酬 → **第3位**

調剤事業売上比率 → **第1位**

※ランキングデータは、ドラッグマガジン10年7月号を参考し、上場企業を対象としております。

前年同時期
(‘09.9末時点)

85店舗

92億円

11.0%

第2期中間実績
(‘10.9末時点)

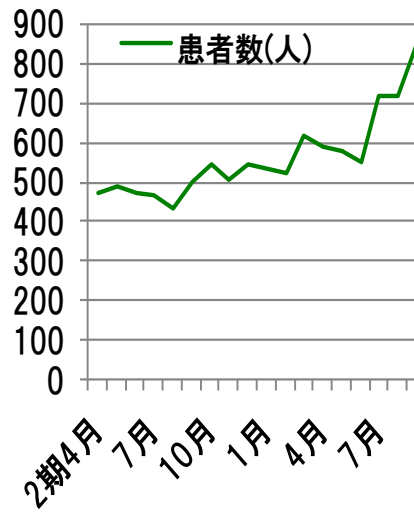
98店舗

101億円

11.9%

在宅調剤取組強化(‘13.3月期 に20億円を目標)

	前年同期間実績	第2四半期実績
拠点数	17	24
患者数(人)	501	853
調剤報酬(千円)	77,208	104,840
処方箋単価(円)	12,127	12,886



■次世代型調剤店開設
阪神尼崎に無菌調剤やバイオハザード対応キャビネットを備えた次世代型調剤施設を開局



アライドハーツとの合併後組織について

ココカラファイン グループ



東京・神奈川を中心に関東・
東海エリアに312店舗
売上: 694億円
(2010年3月期実績)



関西を中心に関東から九州・
沖縄エリアまで375店舗
売上: 1215億円(卸実績含)
(2010年3月期実績)



中部を中心に関西エリアまで
214店舗
売上: 570億円
(2009年11月期実績)



兵庫を中心に関西エリア
に168店舗
売上: 432億円
(2009年11月期実績)

※店舗数はそれぞれ2010年10月1日時点

関東から沖縄まで、幅広い店舗展開

	関東	東海	関西	中国	四国	九州	合計
セガミ	62	10	135	57	20	91	375
セイジョー	282	30	0	0	0	0	312
ジップドラッグ	0	170	44	0	0	0	214
ライフオート	6	0	147	15	0	0	168
合計	350	210	326	72	20	91	1,069

※関東には甲信越を、九州には沖縄を含みます。

中国	セガミ	ライフオート
岡山県	13	0
広島県	19	0
山口県	25	0
鳥取県	0	12
島根県	0	3

関西	セガミ	ジップ	ライフオート
滋賀県	2	8	0
京都府	10	0	23
大阪府	85	0	51
兵庫県	22	0	73
和歌山県	0	14	0
奈良県	16	22	0

関東甲信越	セイジョー	セガミ	ライフオート
東京都	177	30	5
神奈川県	49	7	1
埼玉県	35	13	0
千葉県	8	12	0
群馬県	1	0	0
山梨県	2	0	0
茨城県	2	0	0
栃木県	6	0	0
長野県	2	0	0

九州	セガミ
福岡県	53
佐賀県	2
長崎県	19
熊本県	9
大分県	5
沖縄県	3

四国	セガミ
徳島県	7
香川県	8
愛媛県	3
高知県	2

東海	セイジョー	セガミ	ジップ
岐阜県	0	3	18
三重県	0	0	50
愛知県	1	7	93
静岡県	29	0	9

<2010年10月1日時点>

25

調剤報酬 **289億円**

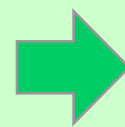
…ココカラファインHD193億円、アライドハーツ HD96 億円



ココカラファイン
業界 第1位

調剤事業売上比率 **9.9%**

…ココカラファインHD10.1%、アライドハーツHD 9.6%



ココカラファイン
業界 第1位



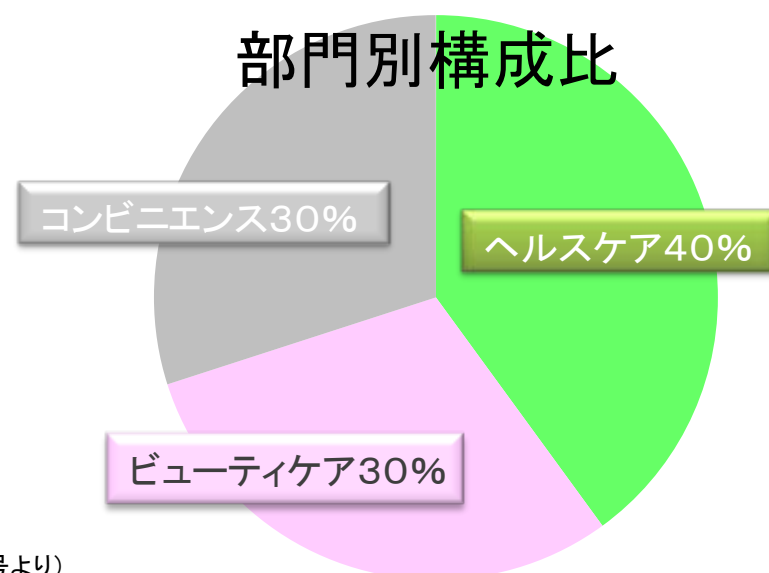
※ドラッグマガジン2010年7月号参照。ランキングはドラッグストア上場企業を対象としています。
※ココカラファインの数値は2010年3月期のものです。

調剤売上高(調剤専門企業含む)

順位	社名	億円
1	アインファーマシーズ	1094.1
2	日本調剤	924.6
3	ファーマクラスター	543.0
4	クオール	529.3
5	総合メディカル	481.4
6	ファーマHD	361.7
7	阪神調剤薬局	313.7
8	ココカラファイン	289.3
9	たんぽぽ薬局	285.1
10	フロンティア	266.6

調剤売上高 第1位(ドラッグ企業)

順位	社名	(億円)
1	ココカラファイン	289.3
2	ツルハHD	218.6
3	スギHD	213.8
4	マツモトキヨシHD	167.7

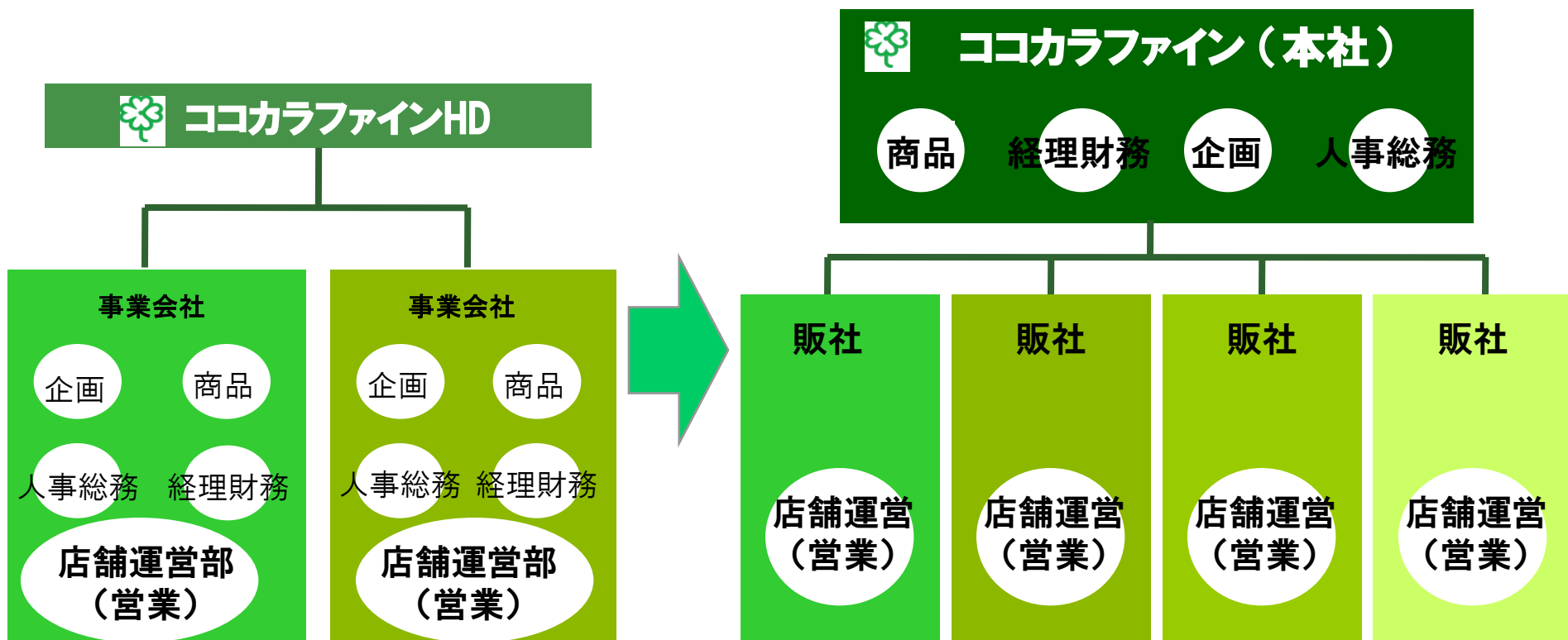


※ランキングはドラッグストア上場企業を対象としております。(ドラッグマガジン10年7月号より)

※他社比較のため、ココカラファインは2010年3月期、アライドハーツは2009年11月期の数値を使用しております。

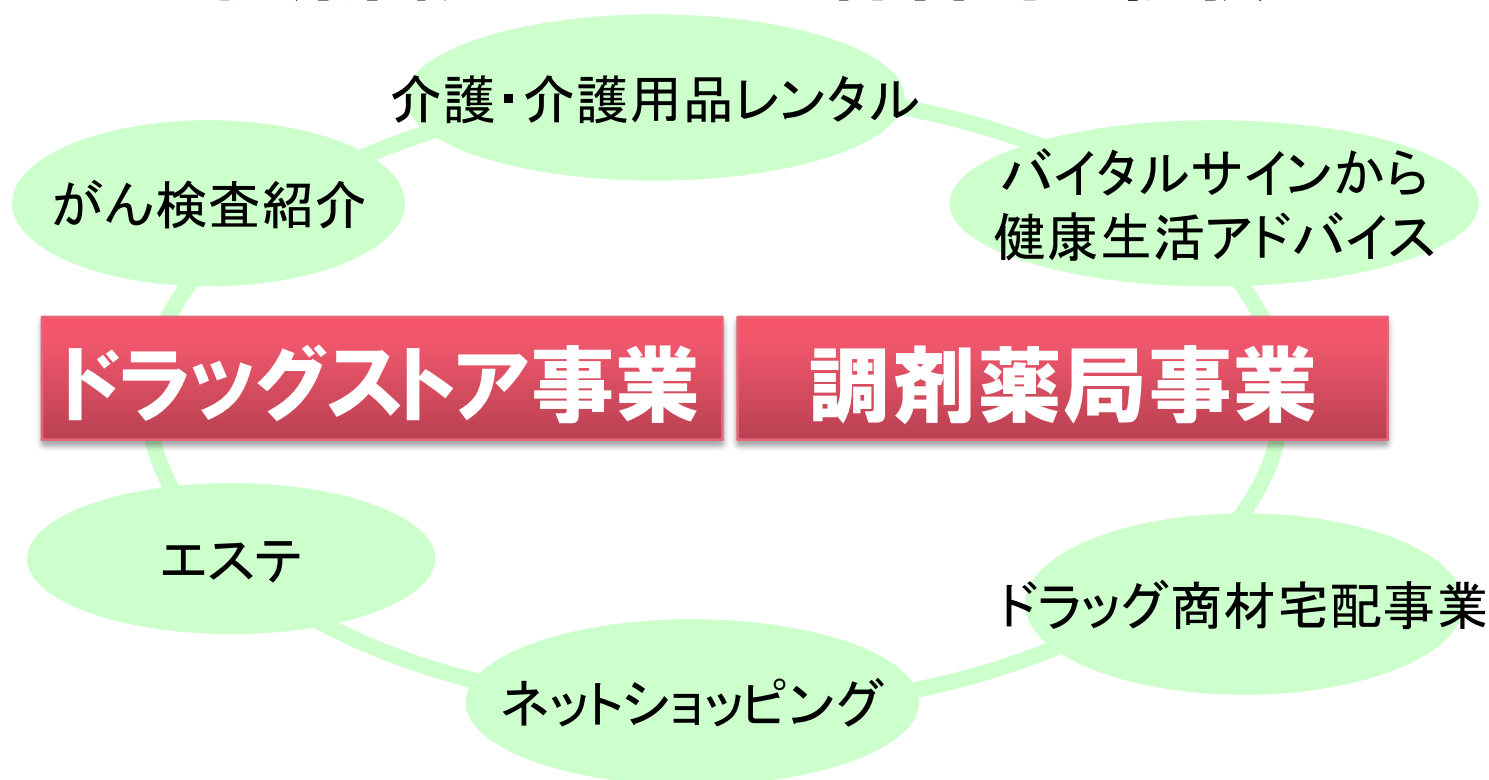
ガバナンスの強化と意思決定のスピード化でシナジーを最大化

- 分散していたホールディングス部署を新横浜に集約
- 店舗運営部門を残して事業会社機能をホールディングスに集約
- ホールディングスを本社、事業会社を『販社』とする体制に変更



ココカラファイン戦略

**ドラッグストア事業と調剤薬局事業を柱とし、
健康関連サービスを総合的に提供しています。**



▶ 商品戦略

- 本社のコントロールにより
グループ統一の商品戦略を展開。
グロスメリットを最大化する

▶ “ココカラ” ブランド強化

- 「販売促進」「オリジナル商品」の
グループ施策推進によるココカラ
ブランドの浸透と強化を実施

ドラッグストア事業の 収益基盤増強

▶ CSへの取組み

- “おもてなし” への取組を
通した顧客満足の向上

クロスセールス 機会創出

- 業界トップクラスの店舗網を
活用したサービス系取引の拡大

コア事業であるドラッグストア事業では経営統合による調達力強化を最大限に
発揮できる組織運営を行うとともに、差別化戦略を推進

▶ システムの統合

- グループ統一の基幹システムを構築することによるコストダウンシナジーの創出

▶ 物流システムの最適化

- 全国に展開する店舗への物流を最適化することによる物流コスト軽減と、店舗のオペレーションコスト軽減

▶ 人材育成

- グループ独自の教育体系を構築、“おもてなし No.1”を実現するための人材を育成

▶ 経営の効率化

- 販社-本社運営体制によるガバナンス・経営スピード強化
- 執行と経営の分離

グループ運営体制強化

統合シナジーを最大化するためのグループ運営体制の構築

▶調剤事業強化

- グループ統一の基幹システムを構築することによるコストダウンシナジーの創出

▶在宅調剤強化

- 拡がる在宅医療へ対応し、地域の医療と連携を深めるために在宅調剤の強化

地域医療との連携強化

▶介護事業推進

- 拡大する介護マーケットに対応。コア事業との連携を深める。

医療の コーディネート機能構築

- 1000店舗超の店舗を中心として医療のコーディネート機能を構築し、ヘルスケアのインフラを目指す。

- ・医療の地域密着化への対応
- ・病院・薬局・ドラッグストアが一体となった地域医療への貢献

▶ 卸事業

- 地域有力チェーンとの業務提携による卸売り事業を通じて、ココカラファインの地域シェアを高めていく。

▶ 海外事業

- 既に着手しているロシア・中国事業の推進と、新たな事業エリアの開拓。
- 東アジアでの新規事業調査と推進。

事業領域拡大

▶ M&A・アライアンス

- 新規事業の開発や、事業規模の拡大にM&Aやアライアンスを積極的に活用。

▶ PB戦略

- グループの販売力や企画力を活用し、他の小売業とは一線を画した付加価値型PB商品の開発と展開。

成長と収益性向上のためにドラッグストア事業をコアとした新規事業の積極的な開発・推進

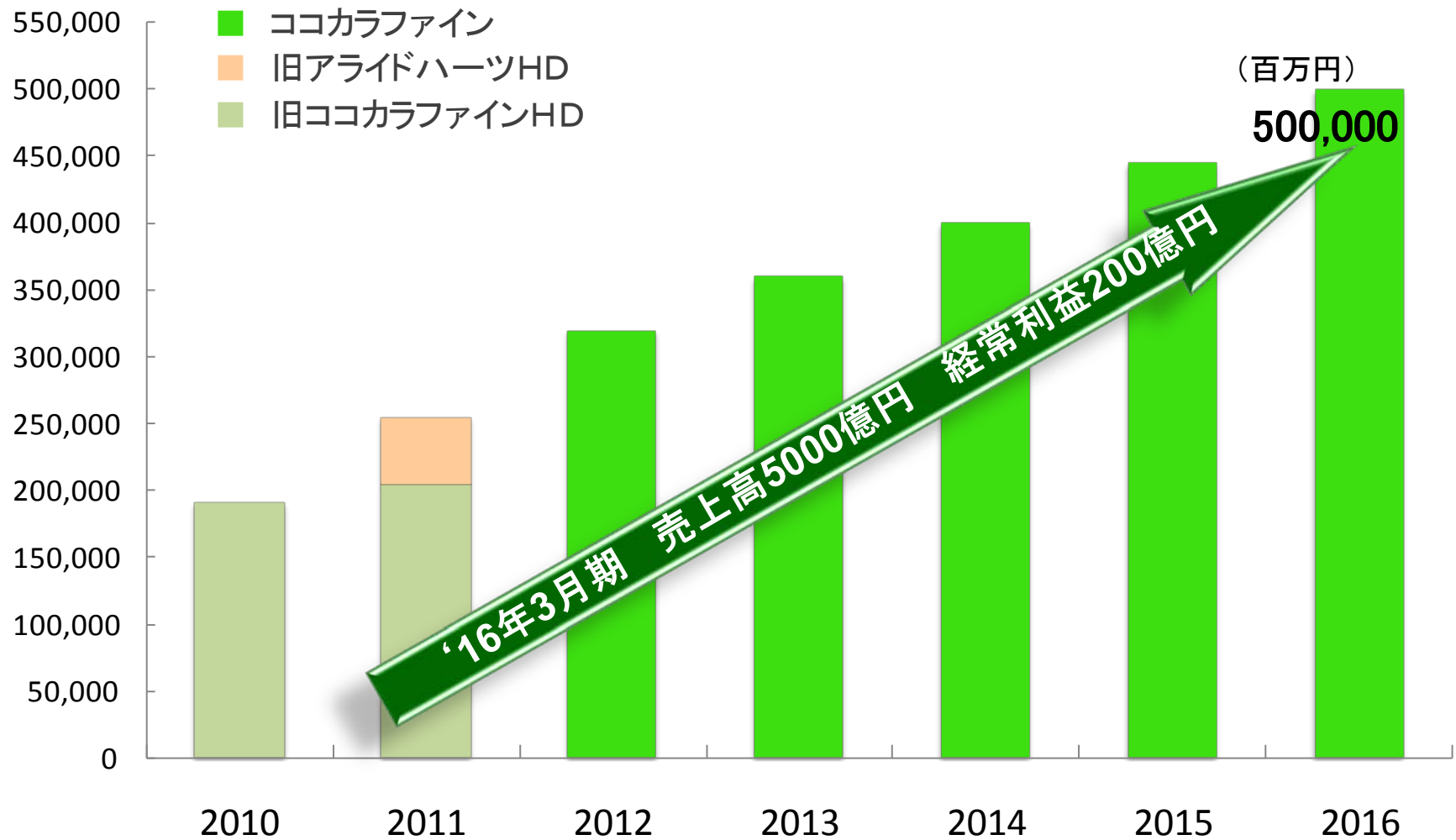
専門性強化

専門知識とカウンセリング強化により、OTC・調剤事業を中心に地域社会に貢献する。

コンビニエンス

価格、立地、品揃え、サービスの充実を図り、より便利で快適なお店を創る。

地域密着型ヘルスケアのプロバイダーとして



経営理念

「人々のココロとカラダの健康を追求し
地域社会に貢献する。」

中期経営ビジョン

1. 日本一質の高い企業に相応しい企業体質構築
2. cocokara fineのコーポレートブランド確立
3. 高成長を実現するグループ運営体制の構築
4. 社会から信頼される人材の育成
5. 業態間競争に勝ち抜く収益力の強化



正式社名		沿革	
正式社名	(株)ココカラファイン		
英文社名	cocokara fine Inc.	2008年	共同持株会社である(株)ココカラファインホールディングスを設立し、東証1部に上場
相場欄名	ココカラF		セガミメディクスが金光薬品(株)(岡山県)と業務提携
本社住所	神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-6		セガミメディクスが(株)ドラッグイレブン(福岡県)と業務提携
電話番号	045-548-5929	2009年	セイジョーが、ロシアにおけるドラッグストア関連事業に進出。(09年8月3日に合弁会社設立)
設立年月日	2008年4月1日		セガミメディクスが、日本企業として初めて中国でのドラッグストア事業展開に着手
東証業種名	小売業		(株)コダマ(新潟県)と業務提携
代表者氏名	塚本 厚志		セイジョーが、タカビルメン(株)の子会社タカラケア(株)の全株式と、タカビルメン(株)の保有する介護関連施設を取得
資本金	1,000(百万円)(2010/3現在) 日本基準		(株)サークルKサンクスと、新業態の開発・コラボ出店・マーチャンダイジング相互支援等を目的に、業務提携
発行済み株式数	25,472,485 (株)	2010年	セイジョーが、店舗におけるライフサポート関連サービス充実のため、(株)カジタクと業務提携
うち普通株式数	25,472,485 (株)		セイジョーが、株式会社いまいよりドラッグ・調剤事業を譲り受け
売買単位	100 (株)		株式会社アライドハーツ・ホールディングスと合併し、株式会社ココカラファインへ商号変更。本社を神奈川県横浜市へ移転
上場市場名	東京(1部)		
ホームページURL	http://www.cocokarafine.co.jp/		



お問い合わせ
ココカラファイン
経営企画本部 I R広報部
TEL: 045-548-5937
FAX: 045-470-3684
<http://www.cocokarafine.co.jp/>

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。

業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。